

# 運動のこれまでの取組

## ① 「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動の基本的な考え方

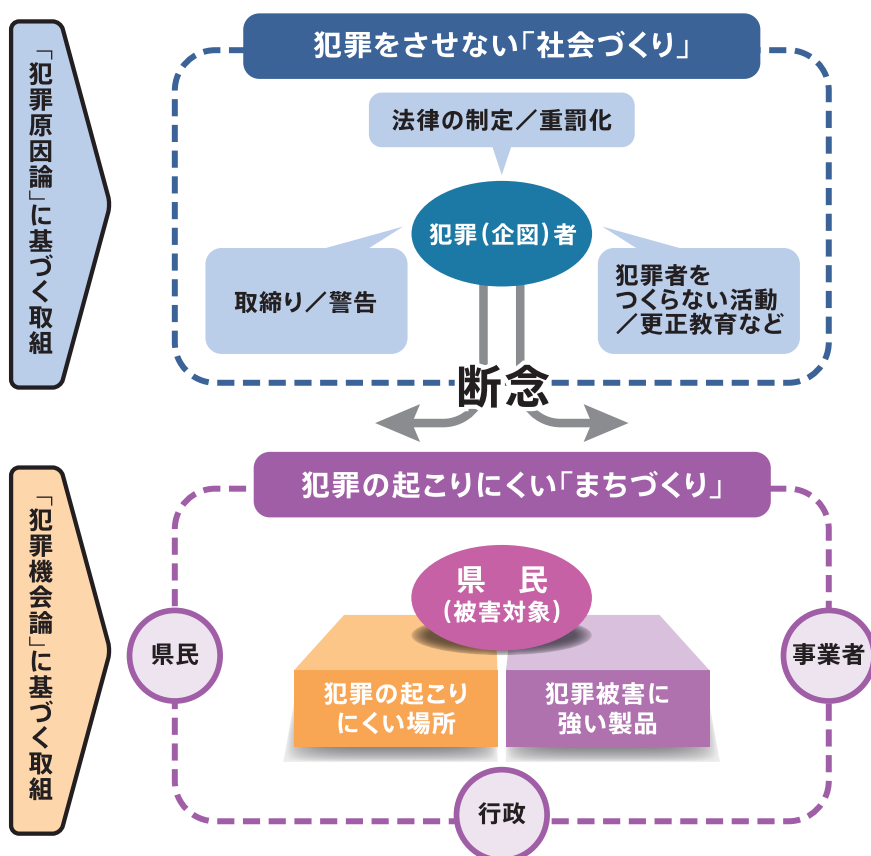
「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動は、平成13, 14年当時、刑法犯認知件数が戦後最多となるなど、悪化の一途をたどっていた県内の治安状況を改善し、安全な社会を取り戻すために始められた県民運動です。

その基本的な考え方は、犯罪者を取り締まるだけでなく、犯罪の発生を予防することにより、犯罪被害を減らそうとするもので、犯罪が起こる原因、環境、機会を減らして、「犯罪の起こりにくい広島県づくり」を進めていこうとするものです。

この考え方の根底は、犯罪の原因、動機、背景など犯罪者に着目した「犯罪原因論」、被害対象や犯行場所など犯罪被害者(物)や環境に着目した「犯罪機会論」及び小さな犯罪の放置が大きな犯罪を生む土壌になるという「割れ窓理論」に基づいています。

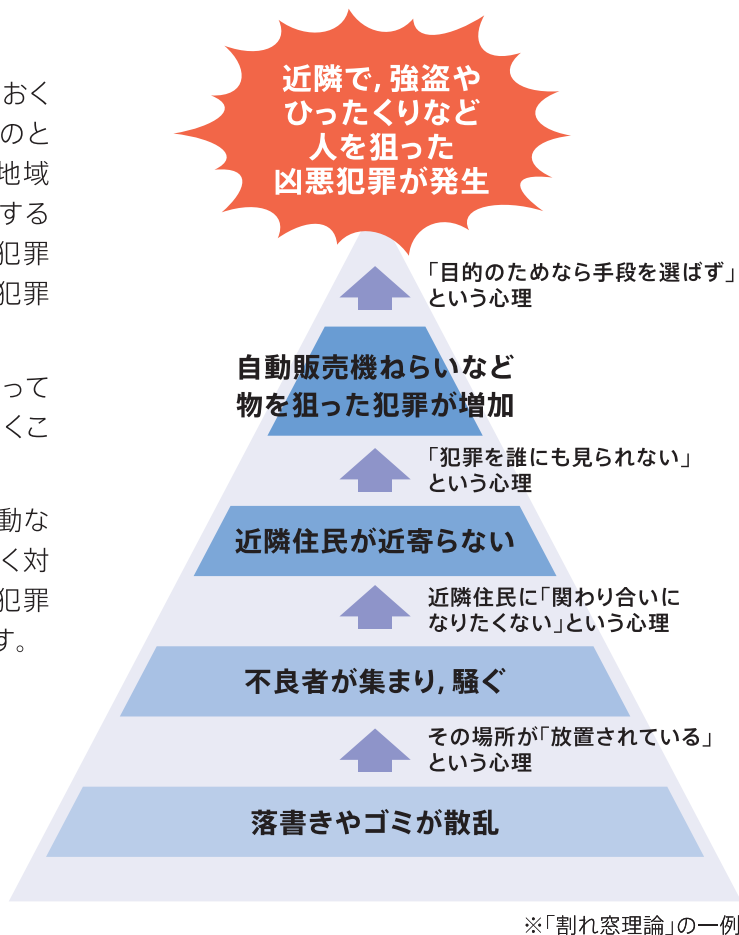
### (1) 「犯罪原因論」と「犯罪機会論」

- 犯罪からの安全を確保するために、今まで様々な取組が進められていますが、それらは、「犯罪原因論」に基づく取組と「犯罪機会論」に基づく取組に大別されます。
- 「犯罪原因論」に基づく取組とは、“なぜ、犯罪者が犯行に及んだのか。”といった、犯罪の原因、動機、背景など犯罪者に着目し、更生教育、取締活動、重罰化など、犯罪者をつくらない・犯罪をさせない「社会づくり」に向けた取組をいいます。
- 「犯罪機会論」に基づく取組とは、“なぜ、その人が狙われたのか。”、“なぜ、その場所で犯罪が起きたのか。”といった、被害対象や犯行場所など犯罪被害者(物)や環境に着目し、防犯意識の浸透、犯罪の起こりにくい環境づくりなど、犯罪の起こりにくい「まちづくり」を進め、犯罪を企てる者に犯行の機会を与えない取組を言います。



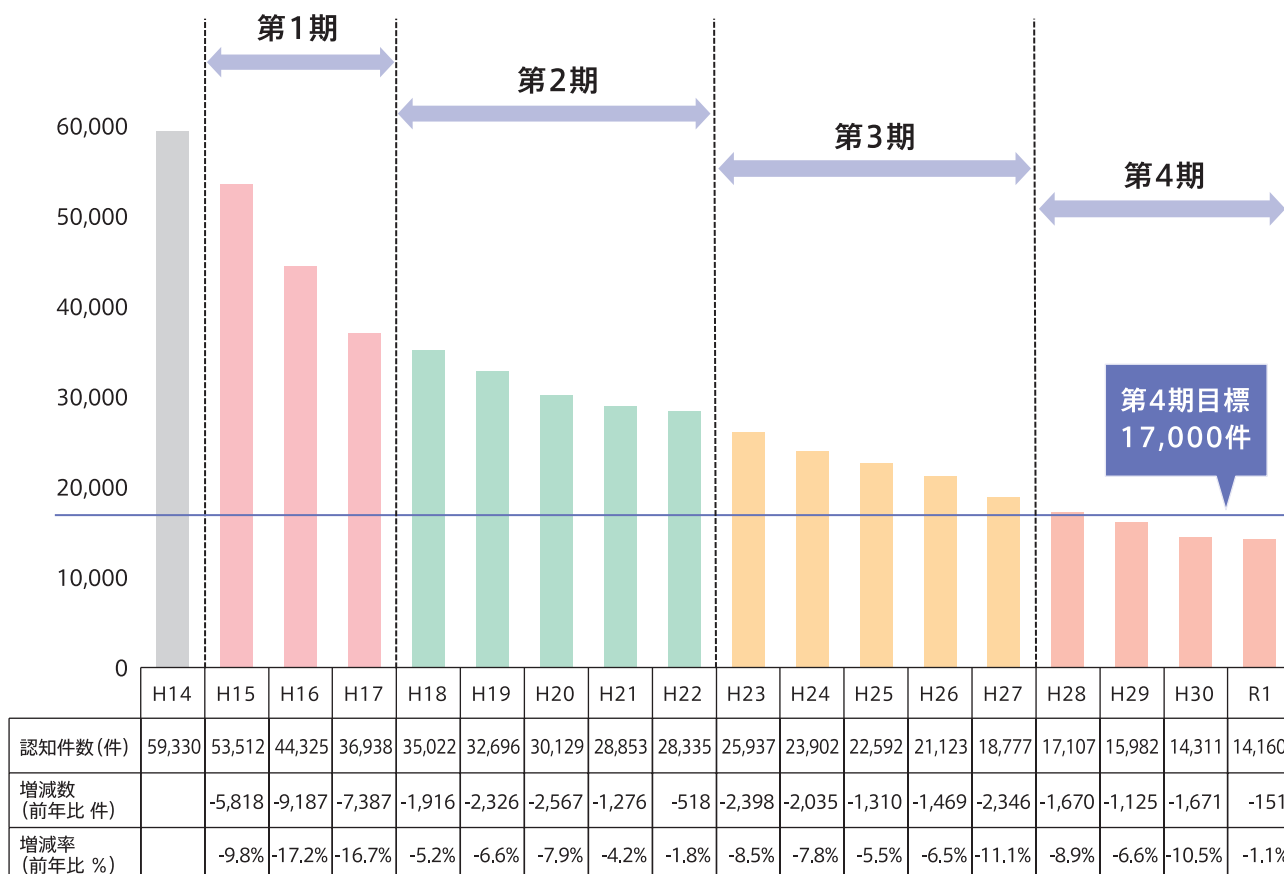
## (2) 「割れ窓理論」

- この理論は、窓ガラスを割れたままにしておくと、その建物は十分に管理されていないものと思われ、他の窓も壊されていき、やがては地域の治安環境が悪化し、凶悪な犯罪が多発するようになるという犯罪理論であり、軽微な犯罪であっても厳正に取り締まることによって、犯罪全般を抑止できるというものです。
- 最初はささいな落書きやゴミの散乱であっても、これを放置することで、犯罪の発生を招くこともあります。
- 公園や地域の清掃活動、落書きの消去活動などにより、身の回りの小さな乱れにいち早く対応することは、将来発生するおそれがある犯罪を未然に防ぐ意味でも大きな効果があります。



※「割れ窓理論」の一例

## ② 刑法犯認知件数の推移【「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動開始以降】



### ③ 第1期～第4期アクション・プランの取組と成果

#### 第1期アクション・プラン(平成15～17年)

(「減らそう犯罪」ひろしまアクション・プラン)

- ◇**施策体系:** (1) 犯罪に強い県民意識の広がり  
(2) 犯罪の起こりにくい環境づくり  
(3) 犯罪抑止に効果的な警察活動の展開
- ◇**目 標:** 刑法犯認知件数を3年で3割減少させる
- ◇**成 果:** **達成** 59,330件(H14) → 36,938件(H17)…… 37.7%減少



#### 第2期アクション・プラン(平成18～22年)

(「減らそう犯罪」ひろしまアクション・プラン)

- ◇**施策体系:** (1) 安全・安心なまちづくりの推進  
① 防犯行動が自然にとれる“意識づくり”  
② 互いに支え合う“地域づくり”  
③ 犯罪の起こりにくい“環境づくり”  
(2) 安心をもたらす警察活動の展開
- ◇**運動目標:** だれもが“安全・安心”を実感できる広島県の実現
- ◇**行動目標:** 今後5年でピーク時の半減を目指す(刑法犯認知件数)
- ◇**成 果:** **達成** 59,330件(H14) → 28,335件(H22)…… 52.2%減少



#### 第3期アクション・プラン(平成23～27年)

(「なくそう犯罪」ひろしま新アクション・プラン)

- ◇**施策体系:** (1) 安全・安心なまちづくり  
① 防犯行動が自然にとれる“意識づくり”  
② 互いに支え合う“地域づくり”  
③ 犯罪の起こらない“環境づくり”  
(2) 安全・安心をもたらす警察活動
- ◇**運動目標:** 日本一安全・安心な広島県の実現
- ◇**行動目標:** (1) これまでで最も被害の少ないまちを目指す(刑法犯認知件数 26,095件以下)  
(2) 子ども・女性を犯罪から守る(数値目標なし)
- ◇**成 果:** **達成** 25,937件(H23) → 18,777件(H27)  
※ ただし、行動目標の指標の1つとして掲げた「政令指定都市等を包括する都道府県で最も少ない犯罪率とする」については、16都道府県中第5位(H27)



#### 第4期アクション・プラン(平成28～令和2年)

(「めざそう!安全・安心・日本一」ひろしまアクション・プラン)

- ◇**施策体系:** (1) 安全・安心なまちづくり  
① 意識づくり～一人一人の「犯罪抵抗力」を育む対策  
② 地域づくり～地域ぐるみで「犯罪抑止力」を高める対策  
③ 環境づくり～「犯罪予防力」の高い生活環境を整える対策  
(2) 安全・安心をもたらす警察活動
  - ◇**運動目標:** 県民だれもが穏やかで幸せな暮らしを実感できる日本一安全・安心な広島県の実現
  - ◇**推進指標:** (1) 刑法犯認知件数の更なる縮減(刑法犯認知件数 17,000件以下)  
(2) 県民の体感治安の向上(治安良好と感じる県民の割合 90%以上)
  - ◇**重点項目:** (1) 身近な犯罪被害の抑止(身近な犯罪(14罪種)認知件数 8,500件以下)  
(2) 子供・女性・高齢者等の安全確保  
(子供・女性・高齢者が被害者となる犯罪の認知件数 7,000件以下)  
(3) 新たな犯罪脅威への対応(特殊詐欺の年間被害総額 5億円以下)
  - ◇**進捗状況:**
- |        |            |                         |                                   |
|--------|------------|-------------------------|-----------------------------------|
| (推進指標) | <b>達成</b>  | 刑法犯認知件数                 | 17,107件(H28) → 14,160件(R1)        |
|        | <b>未達成</b> | 体感治安                    | 86.7%(H26) → 85.3%(H29)           |
| (重点項目) | <b>達成</b>  | 身近な犯罪(14罪種)認知件数         | 8,871件(H28) → 7,047件(R1)          |
|        | <b>達成</b>  | 子供・女性・高齢者が被害者となる犯罪認知の件数 | 6,971件(H28) → 5,755件(R1)          |
|        | <b>達成</b>  | 特殊詐欺の年間被害総額             | 約10億7,494万円(H28) → 約3億2,180万円(R1) |

